

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	野洲市児童発達支援センター「にこにこ教室」		
○保護者評価実施期間	令和8年2月		令和8年2月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和8年2月		令和8年2月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月		令和8年2月
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターとの多機能型のため、児童発達支援(公設公営の療育教室)のノウハウを生かした、保育所等訪問ができる。	保育士や心理士など多職種が働いており、それぞれの意見を聞きながらよりよい支援方法を検討する。	児童発達支援の事業とも連携しながら、保護者研修や保護者会などの機会を活用していく。
2	公設公営の機関であり、公立私立ともに保育園等との連携がとりやすい。	保育所等訪問以外でも、保育園等の職員と連携する機会があるため、支援者同士顔の見える関係を作っている。	
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が児童発達支援との兼務であるため、保育所等訪問支援の対象人数を増やすことが難しい。	安定して保育所等訪問支援が提供できるような職員体制の在り方を検討する必要がある。	適切な職員配置を検討するとともに、保育所等訪問支援の二ーズについて検討する。
2			
3			